

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第51週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (51 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 2 例、レジオネラ症 2 例。
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	肺結核及び結核性胸膜炎	胸痛
			80歳代	男	肺結核及び結核性胸膜炎	咳、呼吸困難
		延岡	40歳代	男	肺結核	なし
4類	つつが虫病	都城	60歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、全身倦怠感
		日南	70歳代	男	—	発熱、咽頭痛
	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎、全身痛
			100歳代	女	ポンティアック熱型	発熱
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	90歳代	女	—	発熱、意識障害、肺炎、菌血症、呼吸苦、膿胸
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、梅毒性バラ疹
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			60歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 640 人(定点当たり 18.9)で、前週比 100%と横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は水痘と手足口病であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

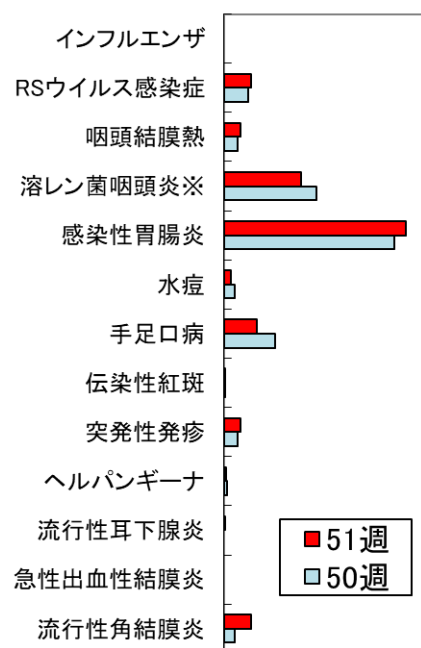
##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 135 人(3.8)で、前週比 84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.7)の約 1.4 倍であった。日南(41.0)、中央(1.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

##### 【感染性胃腸炎】

報告数は 317 人(8.8)で、前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(12.4)の約 0.7 倍であった。小林(22.7)、都城、高千穂(12.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

《前週との比較》



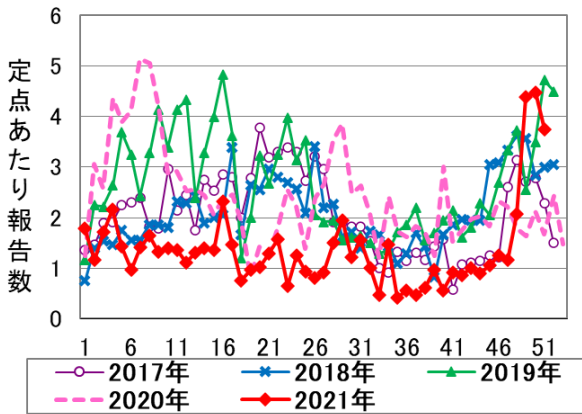
\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

0 10

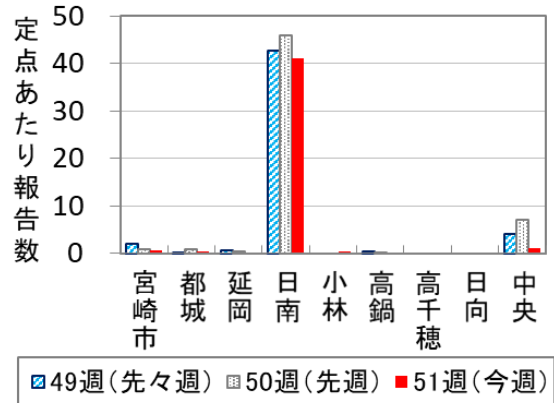
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

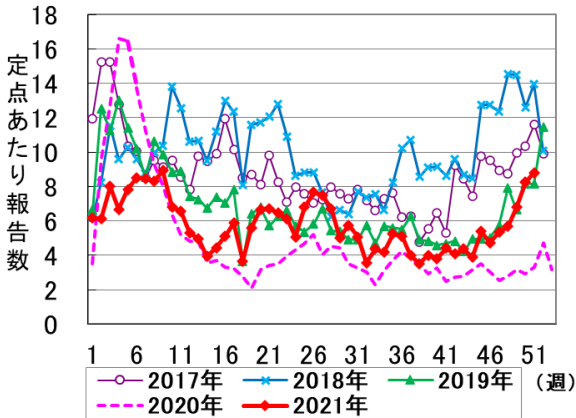
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



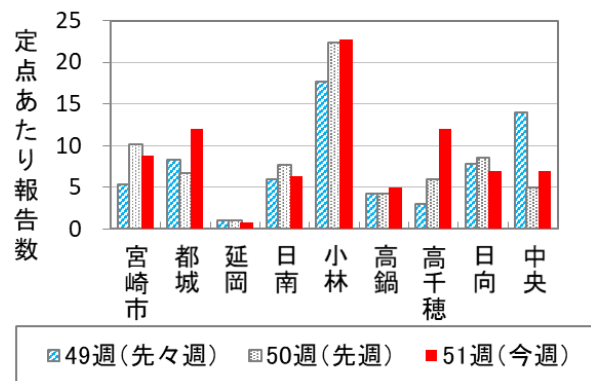
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(41.0)
小林	感染性胃腸炎(22.7)
高鍋	水痘(1.3)
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)

\* 流行注意報レベル基準値\*

- ・水痘(1)

## □病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年1月3日までに検出）

### ★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Typhimurium(variant) (O4:i:-)	10歳代	男	2021.12.13	発熱(37.6℃)、胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2021.12.17
EHEC(OUT:HUT VT2)	10歳代	男	2021.12.13	発熱(37.6℃)、胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2021.12.24

○水様性下痢、血便、腹痛等を呈した10代男性から、*Salmonella* Typhimurium 及び腸管出血性大腸菌（EHEC）が検出された。サルモネラ感染症は年間を通して発生が見られ、EHEC感染症は通常夏季の発生が多いが、冬季にも散発していることから年間を通して注意が必要である。

### ★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ライノウイルス	0～4歳	女	2021.08.04	急性気管支炎、39.2℃、下気道炎	鼻汁	2021.12.21
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2021.08.16	手足口病疑い、39.9℃、口内炎、水疱、丘疹	咽頭ぬぐい液	2021.12.23
エコーウイルス6型	0～4歳	女	2021.09.13	髄膜炎、39.8℃	便 咽頭ぬぐい液 髄液	2021.12.23
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2021.09.20	手足口病、38.6℃、水疱、発疹	咽頭ぬぐい液	2021.12.23
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2021.10.06	手足口病、39.6℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2021.12.23

○乳幼児3名からコクサッキーウイルスA6型が検出された。手足口病は、手、足、および口腔粘膜などに現れる水疱性の発疹を主症状とする感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行しやすく、宮崎県でも8月中旬より流行している。一般的には数日の内に治癒する予後良好の疾患であるが、ごくまれに小脳失調症、髄膜炎、脳炎などの中枢神経系の合併症を起こすことがあり注意が必要である。感染経路は主として糞口感染を含む接触感染と飛沫感染であり、手指の消毒の励行と排泄物の適正な処理などが感染予防対策となる。コクサッキーウイルスA6型による手足口病では、従来の典型的な手足口病と発疹の出現部位が異なり、水疱は扁平で臍窩を認め、これまでより大きいことや、手足口病発症後、数週間後に爪脱落が起こる症例（爪甲脱落症）が報告されている。

## 🇯🇵 全国 2021 年第 50 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	272 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	57 例				
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	1 例	つつが虫病	35 例
	日本紅斑熱	2 例	マラリア	2 例	レジオネラ症	29 例
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例
	水痘（入院例）	5 例	梅毒	138 例	播種性クリプトコックス症	4 例
	百日咳	21 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比108%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は23,396人(7.4)で前週比112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(9.3)の約0.8倍であった。佐賀県(13.1)、奈良県(12.2)、兵庫県(12.0)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は3,162人(1.0)で前週比88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.55)の約1.8倍であった。鹿児島県(5.5)、島根県(5.0)、鳥取県(4.5)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第51週(12月20日～12月26日)

疾病名		第50週	第51週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	43	47	26	6	2	2				8	3
	定点当り	1.19	1.31	2.60	1.00	0.50	0.67	0.00	0.00	0.00	2.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数	24	28	19	3	3			2	1		
	定点当り	0.67	0.78	1.90	0.50	0.75	0.00	0.00	0.50	1.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	161	135	6	3		123	1	1			1
	定点当り	4.47	3.75	0.60	0.50	0.00	41.00	0.33	0.25	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	297	317	88	72	3	19	68	20	12	28	7
	定点当り	8.25	8.81	8.80	12.00	0.75	6.33	22.67	5.00	12.00	7.00	7.00
水痘	報告数	19	12	3	1		2		5		1	
	定点当り	0.53	0.33	0.30	0.17	0.00	0.67	0.00	1.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	89	57	16	24	2		3	2		10	
	定点当り	2.47	1.58	1.60	4.00	0.50	0.00	1.00	0.50	0.00	2.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1						1			
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	29	12	3	5	2	3	3		1	
	定点当り	0.64	0.81	1.20	0.50	1.25	0.67	1.00	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	4	1	3							
	定点当り	0.17	0.11	0.10	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2		1	1						
	定点当り	0.00	0.06	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	8	6	1	1						
	定点当り	0.50	1.33	2.00	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～51週)

2類感染症	結核	129例(4)	
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	29例
4類感染症	E型肝炎	5例	重症熱性血小板減少症候群 13例
	日本紅斑熱	19例	つつが虫病 67例(2)
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	レジオネラ症 13例(2)
	クリプトスポリジウム症	2例	ウイルス性肝炎 3例
	後天性免疫不全症候群	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
	水痘(入院例)	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5例
	破傷風	7例	播種性クリプトコックス症 4例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5264例	
		7例	2例
		4例	85例(4)
		7例(1)	7例
		4例	4例

( )内は今週届出分、再掲